援和時代の韓国経

フォーラム **2006**

済州道への投資を展望して 由都市

センティブ」の順でお話しした

いて、「魅力的な投資環境」 済州特別自治道の投資環境に

島です。

道は飛行時間二時間以内

政府から移譲されました。

教育

講演

済州道の最新プロジェクト

新たな投資

機会を創りだすために

観の優れた場所、約七十四珍に具体的には南の海に面した景

のに対応したものです。

済州国際自由都市開発センター

投資振興室マ

ーケティング局長

郭

鎭奎氏

五百万~程度が必要です。ここ 建設します。事業費は四億五千

にまず、千五百世帯の中・長期

と独特の文化を持った平和な

国を百六十九から百八十カ国に

カジノの新規許可権を

産業の投資では特例を設け、先機関の設立が可能になり、先端医療では外国法人による医療

観光業では、ノ

ービザの対象

もやりたいと思っています。では外国の大学と共同学位制度

す。

ティブです。まず、

支援窓口を

最後が投資に対するイ

ンセン

の引き下げなどが入っていま

しました。土地備蓄制度を導入、一本化し、投資サービスを強化

は観光、文化、教育機関、医療

インセンティブの対象として

大きな割合を占める「自然環境

で、観光産業など第三次産業が

三%、香港の八% シンガポールの

業として育成していく計画で 光、教育、医療、ITを主要産

口五十五万九千

競争できる規制緩和を行い、

観

道全域免税地域

です。済州道は人

魅力的な投資環境



級の接岸設備を計画していま

国際水準の社会インフラも

済州国際空港は

す。国際自由都市計 ているのがJDCで

です。それを推進し

別法が制定され、建設交通部ののが狙いです。二〇〇二年に特

を持つ都市に生まれ変わらせる

ます。

外郭機関として、JDC

か設立

プロジェクトーがリゾート型

設、スパ、商店街などが造られ

がジョイント・ベンチャー・カ DCとマスターデベロッパー 敷地を全部確保し、その後、

団地内には医療施設、宿泊施

〇六年十二月までにJDCが

観光商品開発に注力

ます。

滞在を誘導する住居団地を造り

工事が完了、運営を始める予定 本格的な工事に入り一一年には 二月には土地を一〇〇%取得、

く、国レベルの計画

画というのは、

政府

が「人と商品、投資

の移動が自由で、

企

済

足を複合機能都市

の世界自然遺産の登録を計画

WHOが認めた健康都市で

次に特別自治区の誕生です。

は済州道レベルの計画ではな について説明します。この計画

流、医療教育といった複合機能

コアプロジェクトは四

商品の開発が必要になってきた に変わり、それに特化した観光

いてビジネス、先端科学、物

投資を誘致するという役割です。ジェクトの推進とそれにかかわる

です。 つあり

JDCの主な機能はコアプロされました。

中・長期滞在型の観光リゾート観光が単純な見物という形から

^。○六年は二○%増

たいと思います。

まず、「国際自由都市計画」

画の基本であり、この土台に基さらに発展させるというのが計

プロジェクトを中心にお話しし

いま済州道で進めているコア

事業です。

済州は観光地であり、これを

JDCの主な機能

限保証されている都市」と定義

政府

レベルの戦略事業

業活動の便宜が最大

しており、政府レベルでの戦略

もあ

日本経済新聞社は済州国際自由都市開発セン ターの特別協賛を受け、このほど、赤坂プリンス ホテルで日経産業新聞フォーラム2006「大規制 緩和時代の韓国経済―国際自由都市済州道への

投資を展望して一」を開催した。早稲田大学の深 川由起子教授の基調講演の後、投資対象として の済州道の魅力について2つの講演を行った。

あいさつ

州道 0)

た特徴を有していると自信を持って申し上げられます。 型住宅団地造成事業」「神話・歴史公園造成

その概要を報告する。

済州国際自由都市開発センター (*¼·キョンテゥ)
金 璟宅氏

早稲田大学政治経済学部

教授

深川

由起子氏

基調講演

進

化

す

る

韓

国経済の

挑

魅力を引き出

済

済州国際自由都市開発センター この済州道の強みは未来の国際自由都市として発展できる優れ 一年、「済州国際自由都市特別法」を制定、その担当機関として、 の観光、ビジネスの拠点に」とのビジョンを打ち出 韓国政府は一九九〇年代、済州道を「二十一世紀の東北アジ 済州道は空港、 港湾、道路などのインフラも整っています。 (JDC) が設立されました。

四つのプロジェクトを推し進めています。今後とも、 事業」「先端科学技術団地」「ヘルスケア・タウン造成事業」の DCは国際観光都市としての済州の魅力を最大限に引き出

り、これが通貨危機後の一番の

特別自治区となった済州道

変わりゆく投資環境

済州特別自治道

国際自由都市推進局投資支援課長

康

山哲氏

の設立も許され、その育成のた す。外国の教育機関、医療機関

専門団地も造成する計画で

ンターなどの基盤も有していま

まず、魅力的ないと思います。

投資環境につ

ました。今後、

シンガポー 自治権を確保 なり、千六十二件の権限を中央

国際水準

社会

・ンフラ整備

○六年七月に「特別自治道」に

す

大きく変わった経済

ジネスには影響しなくなってお が本来の強さでもあります。 韓関係は政治的には複雑です /本来の強さでもあります。日/ナミズムに富んでおり、これ 韓国経済は変化が大きく、 政経分離が進み、直接、 ダ

主の過半を外国人が占める上場

会に移行 頭です。韓国はポストモダン社 化、観光など感性的な産業の台 社を動かせなくなっています。 より個人の感性が意味を持つ社 しつつあり、国家政策 Tコンテンツ、 文

理の浸透です。 株

つ目は規制緩和 危機後の韓国経

では、

資源・

レベル

化がありました。 済には構造的な変 によって「世界化」

が急ピッチで進ん

だことです。 二つ目が市場原

方、日韓はビジネスに

携チャネルの多様化へ

ド・ダイナミズムが魅力

ンチャー

あると思います。

実験の戦略的パートナー

会になってきています。

同じ方向性を向いています。環境制約など同じ課題を抱え、

(ふっしょく)し、ベンチャー企すべてを抱え込む体質を払拭 業を旺盛に生み出す環境なしに 日韓とも相変わらず企業内部に

るかもしれません。

民間業者にも部分的に土地の使 -件の権限を移譲する準備をし 政府は第二段階として四百二

機関、IT、BTなどのハイテ

ジアの競争都市並みへの法人税 税を五年間、地方税は十五年間、 は一千万ド以上の投資に対し国 光業は二千万ド以上、物流業で ○○%免除し、国有地も五十 外国人は投資地域を指定、観

になど実現へ

理想的経済モデル構築

チ・ビル、ベンチャー総合支援セ 端科学技術団地、 バイオリサー

用権を与えています。 仢 ており、その中には航空の自由 道全域の免税地域化、東ア

五%まで減免します。 十年以内で、賃貸料を最高七 す。国有地、公有地の賃貸は五 は十年間一〇〇%免税になりま ○○%、二年間五○%、地方税 人、外国人で、国税は三年間一 クに五百万ド以上投資する内国

を投入、

一一年には人口六十

誘致するという目標を持ってい 万人、観光客九百九十二万人を で、この間、三十五兆ンヤ以上

のです。

一一年までが計画期間

企業活動を保証するというも

おり、 Jは JDC が独自 に開発

カ、Hは香港の投資家と話して

人、モノ、金の移動を自由にし、

年間、最高で一〇〇%賃貸料を 通じて「理想的な自由市場」 るようになり、規制緩和やグ で、様々な優遇措置が提供され 特別自治道に指定されたこと

済州道は○二年四月、国際自

変化でした。 共通の課題に向けて

企業が増え、「身内の理屈」で会

日韓提 、高齢化、 . 少子化、

ーションしかないことです。第一は成長回帰への道がイノ 互いの先行実験に学ぶ分野にな スや行政のアウトソーシングも

ります。今後はライフサイエン 日本よりも先に行く可能性があ という「後発の利益」があります。 さまざまなしがらみが少ない、 例えば、医療事務の電子化は

にわかりやすくなりました。日通貨危機後の韓国製品は非常 本の製品はハイテクすぎたり、

ドタイムの短縮を共

通目標とすることで面白い協力

断然、先を行っています。 らざるを得ない。これは韓国が で世界市場への依存度は高くな 略です。日韓とも人口が減るの

もう一つの分野は新興市場戦

ごく強い。しかし、毎日、亀の 手。日本とは逆なのです。日韓 歩みのように努力することは苦

り「産業」と考えられなかった廃棄物処理など、これまであま廃棄物処理など、これまであまはイノベーションは進みません。 ドしているようですが、韓国は とです。この分野は日本がリ 分野がフロンティアとなったこ る可能性があります。

ノウハウをフィードバックできまだ進んでいないので、日本の 始まっていますが、行政サー ンスではさまざまな実験が既に スのアウトソーシングは韓国が 始めるからです。ライフサイエ 実は韓国は実験のしやすい国 一度決めたら、 すぐ

両国の協力は可能 を収めています するものが多いのですが、韓国

デザインが犠牲になっていたり

ができるかもしれません。

がら、互いに違う発想を取り入れ 供給が細る中で人材を共用しな 日本の大企業と韓国のハイテクベ ることには重要な意味がありま を図って新興国では大きな成功 す。大企業同士の提携だけでなく、 力が可能です。理系の若い人材 を入れ、日本製品とのすみ分け 製品は機能を絞りデザインに力 これ以外にも日韓の企業は協 -など、交流には潜在性が

能性もあるでしょう。 ん」で成長する時代は終わりま 日韓とも、「行け行けどんど イノベーションで成長す

国に対するレバレッジになる可

体験や知財ルー

-ルをつくれば中

市場ともいえます。日韓で共通 中国に持っていく」のに適した スが近いので「韓国で実験し、

るけれど、協調もする」ことが るしか道はなく、「けんかもす 必要です。

韓国はもはや安く物を作る トナーではありません。

うテンションに対してはものす 期間にある目標を達成するとい 「速い」ということです。ある 韓国の特性の一つは非常に

ノベーションを刺激するパ 、実験の戦略的パー

と位置付けるべきではないかと

由都市になりましたが、これは J三つに分け、Aはアメリ

をテーマにした室内型の体験ア 州だけでなく世界の神話と歴史 Hは世界の村をつくり、Jは済 Aはスタジオテーマパーク、

ミューズメント施設にします。 国際自由都市建設へ プロジェクト3が先端科学技

用して新薬開発もできます。 七千種以上あるので、それを活 地域であることに加え、植物が 術団地です。済州は電波の清浄

一理想的な経済モデル」を構築

バルスタンダー

したいと考えています。

誘致活動を○七年上期から本格 外国人学校もつくります。分譲、 係の研究施設を分譲します。ま または賃貸での入居希望企業の た、外国人研究者の家族のため、 団地を造成、IT関係とBT関

種許認可を取得しており、後か

また、JDCは開発関連の各

を既に造っています。○六年十 ら来る事業者には楽な事業土台

的に始めます。 プロジェクト4として、 ヘル

近の観光トレンドであるメディスケア・タウンも造ります。最 持などを複合させた団地を造成 カルツーリズムに済州が適して いると考え、健康診断、健康維 ∪ます。運営開始予定は一○年

復がうまく組み合わされること 州の清浄な土地と日本の景気回 は国際自由都市の建設です。済 このプロジェクトの最終目標

月に公表しました。

プロジェクト2が神話・歴史

ます。公募の内容は○六年十二 ンパニーをつくって事業を進め

告

団地内のほとんどが眺望良好で

空港から車で五十分弱で到着、域で、清浄な環境を誇り、済州

る予定です。ここは蛍の保護地

十億%を投じます。区域をA、公園です。四百四鈴の敷地に二

日本経済新聞社広告局企画・制作

済州国際自由都市開発センター http://www.jdcenter.com/jp/

この特集は日経アドネットからもご覧になれます。 http://www.nikkei.co.jp/adnet

関係にもなっていると思います。

さらに、中国市場へのアクセ

は欧米、韓国は新興市場に強いの

解していくことも大切です。日本

で、提携チャネルを多様化できる

務の人材交流を促し、互いを理

また、知財紛争防止のため、法